改憲・戦争阻止！大行進 全国ニュース

8月号
2026
No.20

【連絡先】千葉県千葉市中央区要町2-8 動労千葉気付／東京都台東区元浅草2-4-10 五宝堂ビル5F
TEL.080-6053-1751（本山）　kaikensoshi_daikoushin@yahoo.co.jp

毎月1回　15日発行
頒価100円

8・6ヒロシマ 戦争と核の元凶＝帝国主義を倒せ

戦争式典粉砕の実力デモ！

被爆81周年の8月6日朝、「8・6ヒロシマ大行動」の呼びかけで全国から結集した500人の仲間たちが、改憲・核武装推進－中国侵略戦争突進の高市を筆頭に帝国主義者どもが集う戦争式典に対して、式典会場に進撃し直撃する実力デモを叩きつけた。

怒りと決意にあふれた白ヘルメットの隊列が固くスクラムを組み、「式典粉砕・高市打倒」のコールを轟かせ、ひろしまゲートパークから出発。ヒロシマの怒りの根底的爆発に恐怖する国家権力は、式典会場入口の元安橋を何台もの機動隊車両で封鎖。さらに大量の機動隊がデモ隊に前方・左右からつかみかかり押さえ込もうとした。だが、それを組織的力ではね返し、会場入口周辺で何度も機動隊とぶつかりながら、怒りのデモを貫徹した。

「戦争式典粉砕！高市は帰れ」「被爆者英霊化を許さないぞ」「中国侵略戦争＝核戦争阻止」「戦争と核の元凶＝帝国主義を打倒するぞ」――続く第2・第3梯団のシュプレヒコールは、高市のスピーチを直撃した。会場内でも高市への怒りの声が上がった。

核武装の高市を直撃

基軸国・米帝が世界支配の暴力的破壊・再建をかけて中国侵略戦争－世界戦争に突っ込み、核兵器の近代化・実戦化（「使える核」）を推し進め、フランスをはじめ全帝国主義が核軍事力強化に舵を切っている。日本帝国主義・高市も、非核三原則解体－核共有・核武装に公然と踏み出し、小泉防衛相は核について「タブーなき議論を」と訴えた。こういう連中が結集し、帝国主義のために、その中国侵略戦争の全面的推進のために、被爆者を英霊化し、原爆投下・核・戦争への根源的怒りを帝国主義体制の枠のもとに抑えこみ抹殺・解体し、高市らとともに帝国主義の核と戦争の正当化へと引きずり込むものこそ式典の本質だ。式典に参加した台湾代表が「中国こそ最大の脅威」と語ったように、「ヒロシマ・ナガサキ」の名で中国侵略戦争を推進しようとしているのだ。この全構造をぶっ飛ばし、怒りを真に解き放つ闘いとして、8・6広島闘争は闘われた。

それは「原爆ドーム前を守る」ことにとどまり、式典と共存してきたこれまでのあり方を突き抜け、帝国主義のもとでの（侵略・抑圧の上に成り立つ）「平和」を打ち破り、中国侵略戦争阻止の反戦闘争の本格的爆発への決定的突破口を開いた。この地平を発展させ、「中国侵略戦争阻止・改憲粉砕・高市打倒」の11・22全国闘争（13時、芝公園）を柱とする今秋決戦を闘おう。

中国侵略戦争阻止・改憲粉砕・高市打倒の11・22全国闘争へ

アジア侵略、ヒロシマ・ナガサキをくり返すな

「81年目の8月6日、私たちは目の前で進む中国侵略戦争・世界戦争に、1秒たりともじっとしておれない。命をかけて、体をはって戦争をとめる、戦争と核の元凶である帝国主義を1日も早く打ち倒す以外にないという激しい怒りと危機感を持って今日立ち上がりました」「被爆者は81年間放射能と差別に苦しみながら、「くりかえすな」と声を上げ続けてきました。私たちは絶対にくり返させないと誓って、反戦反核を闘ってきたのではなかったでしょうか。目の前で中国侵略戦争が始まり、核戦争になろうとしています。今度こそ、すべてをかけて、命をかけて、核戦争を阻止しなければなりません。この戦争の元凶である帝国主義とスターリン主義を、直ちに打倒しなければならない。なによりも日本が再び中国・アジア人民大虐殺の侵略戦争に今度は核で武装して突き進もうとしている時、私たちはアジア人民に対する血債にかけて、これを阻止しなければなりません」「今こそ、アジア侵略からヒロシマ・ナガサキに行き着いたそのすべてに対する怒り、恨み、悔しさを全面的に爆発させ、中国侵略戦争に突き進む日本帝国主義を打倒する時です」（8・6ヒロシマ大集会・基調報告）。8・6広島闘争は、この強い決意をもって闘われた。

8・5原爆ドーム前集会

被爆者解放・日帝打倒

闘いの先頭には、被爆者・被爆2世が立った。6日の朝のデモには、1971年8・6式典での佐藤首相実力糾弾の大闘争を先頭で闘い抜いた被爆者青年同盟の旗とヘルメットが登場し、その魂を引き継ぐ被爆2世で被青同委員長の壹貫田康博さんが戦争式典への怒りを燃え上がらせて実力デモを呼びかけた。前夜の原爆ドーム前集会では、71年の闘争を被青同として闘った被爆2世の女性が、被爆者解放・日帝打倒の根底性と強い決意をもって訴えた。

そして6日午後の大集会では、長崎被爆者の土井珠美子さん、高木美佐子さんが発言に立った。被爆者抹殺政策と対決し、今まさに中国侵略戦争を阻止し帝国主義を打倒する闘いを人生かけて貫いている被爆者の存在と決起に応えて、反戦反核闘争の巨大な発展を切り開くことを全参加者があらためて固く誓った。

8・6ヒロシマ大集会（県立体育館）

侵略拠点化と対決し

集会では、大行進呉（準備会）からの発言も行われた。日鉄跡地への複合防衛拠点構想、そして南西諸島へ部隊と兵たんを輸送する海上輸送群の司令部は海自呉基地にある。広島の軍都＝侵略拠点化と対決し、中国侵略戦争阻止の大闘争を！

8・9ナガサキ反戦反核行動

8・6闘争に続き、大行進九州を中心とした実行委員会が呼びかけた8・9ナガサキ反戦反核行動が闘われた。爆心地公園での集会、戦争式典粉砕・高市打倒のデモ（**写真**）を打ち抜き、午後に反戦反核集会を開催した。日帝・高市は、被爆地・長崎と九州を、沖縄と並ぶ中国侵略戦争の大軍事拠点にしようとしている。長崎には「日本版海兵隊」＝陸自水陸機動団が配備され、海自佐世保基地所属のイージス艦が長射程ミサイル「トマホーク」を搭載し、すでに発射試験も行われ9月には運用を開始する。「ヒロシマ・ナガサキをくり返さない」は、日帝の再びの中国侵略戦争を絶対阻止する闘いだ。8・9闘争は、この侵略拠点化と対決する闘いを据えた反戦反核闘争として闘われた。

戦争国会粉砕へ　中国侵略戦争―世界戦争突入情勢のただ中で高市打倒の女性・青年・学生の決起が始まった！

世界史は米帝の中国侵略戦争－世界戦争の開始と激化に一切が規定される段階に突入した。高市は、2・8総選挙での自民党「大勝」をテコに「国論を二分する」改憲・戦争への突進を開始した。これに対して私たちは真正面から日本帝国主義・高市政権打倒を掲げて国会闘争を闘いぬいた。

高市は、野党の屈服・翼賛化の下で、政府提出の戦争法案をすべて押し通した（右囲み参照）。しかし、いま絶望的危機に立ち、追いつめられているのは日帝・高市の側である。

私たちは、中国侵略戦争阻止のスローガンを鮮明に掲げ、6･14首相官邸大デモ～7月反戦闘争～8・6－8・9闘争に勝利した。大行進は今年8波の国会闘争を闘い、さらに5～7月国会正門デモに決起して労働者人民との新たな結合をかちとった。

ついに青年・学生・女性を先頭に、侵略と戦争、差別・抑圧、貧困・生活破壊・労働強化、その根源である帝国主義に対する根底的な怒りに満ちた労働者人民の反撃が始まったのである。その先頭で闘おう。

天皇制を容認し反戦闘争に敵対する日本共産党打倒を

日本共産党はいま、「女性天皇容認を」「いまの憲法の全条項を守る」と言って、天皇制への屈従を人民に強制している。これが日本共産党の「護憲」「戦争反対」の正体だ。この犯罪性を徹底弾劾し、中国侵略戦争阻止と天皇制打倒を一体で訴え、女性・青年・学生の意識的結集をかちとろう。

帝国主義を打倒する革命的女性解放闘争を徹底的に推進し、血債を貫く反戦闘争の爆発をかちとろう。中国侵略戦争阻止の反戦闘争への最大の敵対者＝日本共産党を打倒しよう。

《今年前半成立の主な戦争法》
- ○今年度予算。122兆3092億円（うち防衛予算9兆353億円）
- ○国家情報会議設置法
- ○入管難民法改定
- ○外為法改定
- ○予備自衛官等兼業特例法
- ○経済安保推進法改定
- ○刑事訴訟法改定
- ○防衛省設置法改定
- ○皇室典範改定
- ○国旗損壊罪処罰法
- ○国民投票法改定　など

中国侵略戦争阻止、改憲・戦争国会粉砕、高市打倒へ

この秋は米中の軍事外交的激突が進む中で、9月訪米－内閣改造をテコに危機突破を図る高市との中国侵略戦争阻止をかけた歴史的決戦だ。

第一は、10～11月の日米共同統合実動演習キーン・ソード27との対決だ。「グレーゾーンから武力攻撃事態（中国侵略戦争そのものだ！）等における日米対処能力」を強化し、全国－南西諸島で過去最大規模の実戦演習を行う。「有事」即応態勢や自衛隊・米軍間の指揮統制の連携をもって、米帝が日帝とともに中国侵略戦争の実戦演習を強行しようとしている。断じて許してはならない。

第二は、安保3文書の抜本改定を許さない闘いだ。「有識者会議」の提言をもとに、年末までに3文書改定を閣議決定しようとしている。狙いは、「継戦能力の確保」＝中国侵略戦争への総力戦体制の構築だ。「新しい戦い方」＝無人機・AIの全面活用、軍需産業の育成強化、原潜保有＝核武装、そして自衛隊の侵略軍隊化だ。

またこれは来年度防衛予算10兆円化と一体だ。高市は7月30日に来年度予算の概算要求の上限（シーリング）をなくすことを閣議決定した。来年度は10兆円規模、さらにGDP比3%以上への引き上げも狙っている。

第三は、改憲＝「来春の発議」阻止の闘いだ。秋の臨時国会では、衆参の憲法審査会への「条文起草委員会」設置から改正原案（条文案）の提出→国民投票の発議に突き進もうとしている。高市は昨年11月、「内閣に改正原案の議案提出権がある」と表明し、政府主導で改正原案（条文案）を提出することも狙っている。つまり内閣と憲法審査会（国会）の2つのルートで改憲を何としても強行しようとしているのだ。絶対に阻止しよう。

全国から11･22大結集へ

天皇制の前面化と改憲・安保3文書改定で総力戦体制に突き進む高市に怒りを燃やし、中国侵略戦争阻止の反戦闘争を闘おう。11・22首都・芝公園への大結集、国家権力と激突する首相官邸大デモをかちとろう！

「第1列島線」で侵略戦争を構える

アメリカ帝国主義による中国侵略戦争は、直接には日本列島―南西諸島―台湾―フィリピンを結ぶ「第1列島線」上での軍事力の圧倒的強化・実戦的展開として激しく進んでいる。日本帝国主義はこの侵略戦争に主体的に最先頭で加わる。この現実を怒りを持ってつかむことが必要だ。

写真❷ 巡航ミサイルを発射する海自艦「ちょうかい」（7/29）

写真❶ 普天間基地から離陸

陸自オスプレイが沖縄展開

中国侵略戦争を想定した日米共同の実動訓練「**レゾリュート・ドラゴン26**」が実施される中（6月20～30日）、6月22日に陸上自衛隊の輸送機V22オスプレイ3機が米軍普天間飛行場に着陸した（**写真❶**）。続いて29日には宮古島の宮古空港と石垣島の石垣空港に着陸した。自衛隊のオスプレイが普天間と宮古を使用するのは初めてのことだ。普天間は「給油・駐機」、宮古は「患者後送」という名目を付けているが、いずれも実際の侵略戦争作戦を想定した訓練にほかならない。

陸自オスプレイの主な役割は、長崎県佐世保市が拠点の水陸機動団や、ミサイル部隊を南西地域の島々に輸送することだ。米海兵隊も、第1列島線で島々に分散し、対艦ミサイルを発射する「遠征前進基地作戦（EABO）」を展開する。陸自のオスプレイ展開は、まさにこの日米共同作戦の肝となっている。

佐賀駐屯地にオスプレイが配備されて7月9日で1年。防衛省・自衛隊が訓練区域を九州地域から拡大させ、沖縄の島々で恒常的に訓練展開する計画を進めている。この夏以降も那覇基地、宮古空港、石垣空港などを使用するという。防衛省関係者は宮古島を「日米訓練の重要地点」と位置づけ、共同訓練を重ねていく考えを示している。

長射程ミサイル配備が激化

7月29日、海上自衛隊のイージス艦「**ちょうかい**」が、太平洋上の米国海域で巡航ミサイルの実射実験を初めて行った（**写真❷**）。トマホークは射程1600㌔で、28年3月までに400発を取得する。「ちょうかい」は9月に帰国し、佐世保基地を拠点に実任務に就く予定だ。

陸自は6月7日に実施した「富士総合火力演習」で、3月に富士駐屯地に配備した「25式高速滑空弾」（**写真❸**）を参加させた。数百㌔離れた敵を叩く「反撃ミサイル」の発射機。射程は今後改良を重ねて3000㌔まで伸ばすという。

一方、米軍も中距離ミサイルの日本配備を進めている。6月22日～7月1日に実施された「**バリアント・シールド2026**」（米インド太平洋軍主催の多国間共同訓練）に、トマホークなどを発射できる「**タイフォン**」（**写真❹**）を海自の鹿屋航空基地（鹿児島県）に持ち込んだ。9月の「**オリエント・シールド**」（陸自、米陸軍、豪軍）でも展開し、以降も在日米軍基地で「保管」するという。九州からは中国の北京も射程範囲内になる。事実上の実戦配備である。

また、第3海兵師団は6月22日、EABO作戦の主力兵器となる地対艦ミサイルシステム「**ネメシス**」と短距離防空システム「**マディス**」の正式配備を明らかにした（**写真❺**）。ネメシスは射程250㌔のミサイルを発射でき、無人で動く。C130輸送機や大型ヘリで島しょ部に運び込める。

フィリピンでミサイル発射

5月上旬、台湾から南に400㌔、フィリピン北部パオアイの沿岸で約150人の自衛隊員が砂丘に88式地対艦誘導弾を搬入してミサイルを発射、75㌔先の海に浮かぶ退役軍艦に命中させた。米比主催の大規模演習「**バリカタン**」での実動訓練の一場面である。自衛隊の隣では米軍が「ネメシス」を展開した。

すでに米軍は、24年と25年のバリカタンに合わせ、「タイフォン」と「ネメシス」をフィリピンに搬入し、事実上の配備を続けている。また、台湾に近い北部の基地など、フィリピン国内9ヵ所に米軍が一時的に駐留できる軍事施設を設けている。

日本政府もフィリピンとの「準同盟」関係をめざし、軍事的連携を強めている。23年に警戒監視レーダーを輸

写真❹ タイフォン

る米軍・自衛隊

する自衛隊のオスプレイ（6/27）

写真❸ 25式高速滑空弾の発射装置（6/7）

出し、今年の2月には沿岸監視レーダー5基を無償供与した。5月にはマルコス大統領が高市首相と会談し、軍事情報包括保護協定（GSOMIA）の交渉開始で合意した。また、小泉防衛相とテオドロ比国防相が会談し、「あぶくま」型護衛艦を速やかに輸出することで合意し、88式地対艦誘導弾の輸出を検討するとした。

沖縄は自衛隊1万人体制に

那覇市に司令部を置く陸上自衛隊第15旅団を「師団」に格上げする防衛省設置法や自衛隊法の「改正案」が6月26日、参議院本会議で可決・成立した。これによって航空自衛隊も「航空宇宙自衛隊」に改編された。

旅団と師団とでは何が違うのか。米軍の場合、師団は作戦レベルの大規模戦闘を担当し、歩兵・機甲・砲兵・通信・補給・衛生など“自己完結型”の部隊となり、長期間・広範囲の作戦を単独で遂行できる。

陸上自衛隊の場合も「作戦遂行の基本単位」と位置づけられ、長期間・広範囲の作戦を担う。師団長は「陸将」という最高位の階級となり、陸上幕僚長、陸上総隊司令官、方面総監と並ぶ陸自全体のトップに位置する。

写真❺ 左がマディス、右がネメシス

沖縄の第15旅団は、沖縄本島のみを担当区域としたため、人員約2300名と、他の旅団（約4000名）より規模が小さい。だが師団に格上げされることによって人員は約4000名になり、宮古島や石垣島などの部隊を直轄指揮する。

これで沖縄県内には陸自約5000人、海自約1500人、空自約4000人、合計で1万人規模（推定）の隊員が配備されることになる。

AI、無人機、大量のミサイル

安保3文書の年内改定に向けて、自民党と日本維新の会が提言をまとめ、6月24日に高市首相に提出した。自民党は、①**「新しい戦い方」へ対応し「多様な無人アセットの導入を大胆かつ迅速に推し進める」**べき、②**長射程ミサイルの「十分な量の確保」と配備の加速**、③日米のより高度かつ実践的な共同訓練の促進、④自衛隊などが円滑に利用できる空港・港湾の整備推進、⑤（南西地域への）輸送力の強化・国民保護体制の強化、⑥**「有事があり得ることを前提」とした社会・産業構造への転換**、⑦防衛費をGDP比3・5%に引き上げる各国の動向を踏まえて「5年以内の防衛力の変革」に向けた予算の確保などを求めた。維新は、①**非核三原則の「持ち込ませず」については現実的な検討を行うべき**、②**垂直発射装置を搭載した原子力潜水艦の早急な導入**、③**集団的自衛権の全面容認と憲法9条2項の削除**を強調した。

以上から明らかなように、安保3文書改定は米日の中国侵略戦争態勢を激しく進めるものだ。とくに自民党は「新しい戦い方」への対応を「喫緊の課題」とし、AI（人工知能）の導入や無人機の大量生産が急務だとした。これらは3文書が改定されてから進むのではない。すでにその論議と同時に事態は進行している。

第1列島線での戦争シナリオ

今年1～2月に防衛省で行われた「**キーン・エッジ**」（2年に1度の日米指揮所演習）で、米企業のAIシステムが使われた。シナリオは南西諸島で米軍と自衛隊が攻撃され、日米が協力して長射程ミサイルなどで反撃するというものだ。AIは一度に多くの攻撃対象を判断し、攻撃方法をセッティングした。米軍は2月、イランへの攻撃でAIを活用、最初の24時間で1千ヵ所を攻撃したと報じた。すでに政府・防衛省は、実戦でデータを蓄積している米国製のシステム導入とともに、国産AIの開発を進めている。

以上のような軍事力の大強化と実戦的展開について、政府やマスコミ等は「中国やロシアや北朝鮮の脅威を抑止し撃退するため」と説明し、アメリカや西欧や日本が「平和・自由」を守る「民主主義国家」だと演出する。このような言説で労働者人民をだまし、「お国のために命を投げ出せ」と言って戦争協力を迫る歴史をくり返してきたのが帝国主義国家だ。

いま世界で起きている全ての戦争の根本にあるのは、資本主義・帝国主義の問題、何よりも大没落する米帝の問題だ。中国侵略戦争―世界戦争阻止は、この根本と真っ向から対決する歴史的闘いだ。（川添）

戦争・差別の元凶＝天皇制倒すぞ！
7・25関西女性反戦デモ＠扇町公園

7月25日、大阪・扇町公園で「アメリカによる中国侵略戦争―世界戦争をとめよう！戦争と女性差別の元凶＝帝国主義・天皇制を打倒しよう！イラン侵略戦争阻止！トランプ・高市打倒！」を掲げた関西女性反戦集会・デモ（実行委員会主催）が開催され、猛暑の中、100名が結集して闘いました。6・14全国闘争を引き継いで、7・4反戦女性集会（杉並・高円寺）と一体で、革命的女性解放闘争を先頭とした米帝の中国侵略戦争阻止、天皇制打倒の闘いとして大成功しました。

冒頭、実行委員会の青年が基調報告をおこないました。はじめに、「私たちは、歴史の分岐点に立っています。すでに始まった米帝・トランプによる中国侵略戦争―第3次世界大戦を絶対に阻止しなければなりません！」「この帝国主義に同じく核で対抗し核戦争を促進しているのが中国スターリン主義です」と帝国主義・スターリン主義の打倒を訴えました。また、「日本は米帝・トランプの中国侵略戦争―世界戦争の要として位置付けられ、日帝・高市は中国侵略戦争の最前線に立つことに唯一の延命の道を求めている」「皇室典範改定と国旗損壊罪法弾劾！天皇・天皇制イデオロギーを粉砕しよう」「女性を天皇にしないのは不当などと主張する日本共産党スターリン主義打倒！」と怒りをもって弾劾しました。2点目に、「第三次世界大戦が始まっている中で、戦争反対の声を上げている女性、生きづらさを感じている女性、すべての女性に訴えたい！私たち女性は、決して弱い性ではありません！この社会によって奪われている政治や暴力、言葉、怒りを奪い返し、女性差別に屈服してきた自分を自分の力で変えることができる主体です！女性差別の元凶は資本主義・帝国主義社会そのものだ。女性解放は共産主義革命の中にある」と革命的女性解放闘争への決起をよびかけました。

引き続き、実行委員会メンバーからのアピールがおこなわれ、梅田繁華街にむけたデモに出ました。デモコールにあわせて手を振り上げて呼応するなど大注目の一方、デモ隊につっかかる妨害があるなど街頭に決定的な分岐がつくりだされました。さらなる分岐と流動をもって11・1―11・22へ全力でたたかおう。（**改憲・戦争阻止！大行進・関西　吉井唯眞**）

裁判前、240名で包囲デモ

闘いは続くと裁判報告集会

東京高裁の証人申請却下に怒り爆発
7・16 国鉄1047名解雇撤回裁判

7月16日に行われた国鉄1047名解雇撤回裁判の控訴審第3回口頭弁論で、東京高裁の阪本勝裁判長は、原告の動労総連合が求めていた井手正敬（JR西日本元会長）と深澤祐二（JR東日本会長）の証人採用を却下する暴挙を強行した。前回1月23日の裁判で前任の東裁判長は、「JR設立委員会による不当労働行為があったという原告の主張を中央労働委員会とJR東日本が認めないなら、証人尋問を行う」と明言していた。だが、国家権力はただちに裁判長を異動させ、新たに阪本勝を裁判長にすえ、阪本は何一つ説明することもなく「いずれの証人も必要性がない」と言い放った。

これに対して、弁護団はただちに忌避を申し立てて裁判は中断。法廷は怒りの声につつまれた。「裁判長が変われば法廷での決定も関係なくなるのか！」「恥を知れ！」。何の正義性もない裁判所はまともに制止することも出来ず、30分近くも怒りが叩きつけられた。

裁判後の総括集会では、怒りの発言が相次いだ。動労千葉の関委員長は「裁判所は腐っている。阪本は入ってきた時に顔がこわばっていた。これだけの人が集まり、署名も集まる中で、『却下』するのが怖かったのだ。国鉄闘争勝利にかけて闘い抜こう」。

動労総連合・田中委員長は、「法廷の場で『証人を採用する』と明言しておきながら、裁判長を飛ばしてひっくり返す。前代未聞ではないか。40年間われわれが何と闘ってきたのかを知らされた思いだ。われわれは負けていない。国鉄分割・民営化で後退を強いられた労働運動をもう一度前進させよう」と訴えた。

関東大震災―朝鮮人・中国人虐殺103年
米日の中国侵略戦争阻止9・1反戦デモへ

大行進東京東部・古内秀和

関東大震災時の朝鮮人・中国人虐殺から103年目の9月1日、すでに米日帝国主義が開始している中国侵略戦争＝核戦争を絶対に阻止する闘いとして反戦デモを呼びかけます。

行き詰まり没落し世界支配を維持できなくなった米帝・トランプが、米帝に迫るほど「巨大化」した中国を転覆する侵略戦争を開始しています。一方、中国もスターリン主義支配を維持するために、反人民的に軍事対抗を強め世界戦争を加速させています。この帝国主義とスターリン主義を打倒する世界革命が中国侵略戦争をとめる唯一の道です。

トランプは日本に中国侵略戦争の最前線に立って血を流せと要求し、高市はそこに帝国主義としての活

路を見出して戦後的制約＝憲法9条を破壊し、天皇制を強化して中国侵略戦争に突き進んでいます。

日本の労働者民衆は、中国―アジア人民を虐殺する側に立った歴史をくり返してはなりません。自らの血を流してでも戦争の元凶＝帝国主義・天皇制を打倒し、中国侵略戦争―世界戦争を阻止しよう！

虐殺・侵略の歴史くり返すな

1923年9月1日に起きた大震災直後から「朝鮮人が襲ってくる」「朝鮮人が井戸に毒を入れた」というデマが流され、政府は戒厳令を発令しさらにデマを拡散。軍隊と警察、民間自警団によって朝鮮人約6000人、中国人約800人が虐殺されました。

この虐殺は過去の問題ではありません。今、政府はあらゆる手段で「平和」を破壊する「中国（人）の侵略・脅威」を煽り、労働者民衆を祖国防衛主義にからめとり、中国侵略戦争に動員するために民族差別・排外主義をまき散らしているからです。

103年前の日本帝国主義は、その存立に不可欠な植民地・従属国＝台湾・朝鮮・中国を支配するために、繰り返し巻き起こる民族解放闘争を圧殺し、徹底した民族抑圧・虐殺を行いました（1919年朝鮮三・一独立運動、中国五・四運動）。帝国主義＝天皇制支配と闘う朝鮮人民・中国人民に恐怖し、新聞を通して朝鮮人・中国人への差別と憎悪をくり返し煽りました。その結果、多くの民衆が自警団として関東大震災時の虐殺に手を染めたのです。

日本の労働者階級が差別・虐殺の元凶＝帝国主義・天皇制に階級的に屈服した結果が、1931年のいわゆる「満州事変」に始まる中国全面侵略戦争―アジア侵略戦争での2000万人におよぶ虐殺でした。昭和天皇ヒロヒトは「満州事変」を強行した関東軍を「その忠烈を嘉（よみ）す」と褒め称え、侵略・虐殺を全面推進しました。ヒロヒトは国体＝天皇制護持のために沖縄戦、広島・長崎への原爆投下をも引き起こしました。

この戦犯ヒロヒトを延命させ、天皇を「国民統合の象徴」としてきたのが戦後憲法です。しかし、天皇制に反対できなければ反戦も反差別もありえません。あらゆる差別と民族排外主義を絶対に許さず、闘う中国人民・アジア人民と連帯し、帝国主義打倒の内乱に突き進もう。9・1反戦デモへの全力結集を！

内外情勢（7月中旬～8月上旬）

▼千葉県と周辺9市町がNAAによる国への土地収用法手続き申請に同意（10日）
▼フィリピンと日米など14カ国が南中国海をめぐる共同声明（12日）
▼小泉防衛相がベトナムのザン副首相兼国防相と会談（13日）
▼皇室典範改定、国旗損壊処罰法、刑訴法改定が成立（17日）
▼小泉防衛相が核兵器について議論の必要性を主張（17日）、22日にはベルギーで「タブーなく核戦力の議論を」と発言
▼独メルツ首相と仏マクロン大統領が合同安保会議、核政策の転換を発表（17日）
▼米兵2名死亡を口実に米中央軍がイランを空爆（18日）
▼ウクライナがロシア・モスクワ州の製油所を無人機で攻撃（19日）
▼小泉防衛相が「防衛生産・技術基盤戦略」策定を表明（20日）
▼英、労働党バーナム新首相就任（20日）
▼「骨太方針2026」と「日本成長戦略」を閣議決定（21日）
▼米ヘグセス戦争長官が対イラン戦費が375億ドルと証言（21日）
▼茂木外相が訪比。米ルビオ国務長官と会談（21日）。米韓、ASEAN、米豪印との外相会談（22日）
▼改定国民投票法、「副首都構想」関連法が成立（24日）
▼イエメン・フーシ派が紅海でサウジのタンカーを攻撃と発表（22日）
▼米トランプ政権、サウジアラビアとの原子力協定に署名と発表（22日）
▼トランプ政権が10～12.5%の新たな輸入関税を発動（24日）
▼平口法相、不法滞在外国人摘発へ入管職員226人増員を発表（28日）
▼海自イージス艦「ちょうかい」が米でトマホーク実射試験（29日）
▼国家情報局が730人体制で発足、国家情報会議が初会合（31日）
▼日米協調の円買い介入実施（31日）
▼宮古島陸自が公道で徒歩訓練（31日）
▼26年版防衛白書公表。中国を「最大の戦略的挑戦」、「新しい戦い方」、継戦能力等を強調（4日）
▼入管庁が永住資格許可厳格化案（4日）
▼台湾軍が軍事演習「漢光」を10日間の日程で開始。米国製戦車エイブラムスや地対空ミサイルシステムも初投入（5日）
▼高市首相が広島－長崎訪問（6、9日）
▼ヒサヒトが広島原爆慰霊碑訪問（7日）

行動予定 Action Plan

■映画「在日」（人物篇）上映＆トークin練馬 8月16日（日）14時～練馬駅前「Coconeri」（ココネリ）3F研修室／大行進東京北部

■三里塚フィールドワーク
8月19日（水）10時天神峰・市東さん宅前集合／三里塚芝山連合反対同盟

■陸上自衛隊中央情報隊による市民情報収集許すな！朝霞駐屯地抗議申し入れ行動 8月19日（水）11時30分朝霞駅南口集合／大行進埼玉

■大坂控訴審勝利・東京高裁包囲デモ
8月20日（木）12時日比谷公園霞門集合／星野・大坂全国救援会

■狭山差別裁判糾弾東京高裁包囲デモ＆要請行動 8月24日（月）12時日比谷公園霞門集合／全国水平同盟・部落解放東日本共闘

■御堂筋反戦デモ 8月29日（土）15時～新町南公園／大行進関西

■関東大震災－朝鮮人・中国人虐殺から103年－9・1反戦デモ
9月1日（火）18時30分～錦糸町駅南口でリレーアピール、19時30分デモ出発→亀戸へ／大行進東京、大行進東京東部

■女性解放学習会「女性差別と天皇制」 9月5日（土）13時30分～渋谷区勤労福祉会館第1洋室／3・8国際婦人デー集会実行委員会

■空港拡張差し止め裁判 9月8日（火）10時30分～千葉地裁

■大坂控訴審勝利・東京高裁包囲デモ＆申し入れ行動
9月17日（木）12時日比谷公園霞門集合／星野・大坂全国救援会

■映画「在日」（人物篇）上映会 9月22日（火・休）13時30分～中野ZERO・視聴覚ホール／大行進中野・世田谷・杉並

■9・23横須賀反基地デモ 9月23日（水・休）14時～京急横須賀中央駅前広場、アピール行動後デモ／改憲・戦争阻止！大行進、大行進神奈川

三里塚フィールドワーク（7/22）

高裁包囲デモ（7/23）

■大坂裁判控訴審第1回公判 10月2日（金）12時日比谷公園霞門集合→東京高裁包囲デモ、14時30分～高裁429号法廷

■10・4新宿反戦デモ
10月4日（日）13時～新宿駅東口広場／改憲・戦争阻止！大行進

■10・11三里塚全国総決起集会
10月11日（日）12時～成田市赤坂公園／三里塚芝山連合空港反対同盟

■11・1全国労働者総決起集会
11月1日（日）12時～浅草公会堂ホール、集会終了後浅草の街をデモ行進／国鉄千葉動力車労働組合、国鉄分割・民営化に反対し、1047名解雇撤回闘争を支援する全国運動、改憲・戦争阻止！大行進

■中国侵略戦争阻止！11・22全国集会・首相官邸大デモ
11月22日（日）13時～芝公園23号地集会広場、14時50分デモ出発／改憲・戦争阻止！大行進

闘争日誌

7月10日 WWOF国会行動2万7千人
7月11日 千葉市内で国鉄全国集会に470人結集。国鉄闘争勝利、11月集会運動の新たな出発を宣言
7月16日 大行進東京国会闘争に120人
7月16日 国鉄1047名解雇撤回高裁包囲デモに240人、裁判では証人却下の反動的訴訟指揮に裁判官忌避を申し立て
7月19日 総がかり国会行動2万5千人
7月19日 大行進東海が名古屋反戦デモ
7月21日 大行進九州が佐賀駐屯地抗議
7月22日 三里塚フィールドワーク
7月23日 大坂さん解放！高裁包囲デモ
7月25日 大行進神奈川が横須賀反戦反核反基地集会・デモ、60人結集
7月25日 関西女性反戦デモに100人
7月25日 大行進東京の反戦反核東京集会・渋谷デモに180人
7月26日 全国水平同盟15回大会、部落解放・日帝打倒を宣言
7月26日 大行進沖縄が国際通りデモ
7月26日 ヒロシマ大行動が反戦デモ
7月30日 8・6広島暴処法弾圧控訴審で控訴棄却の反動判決
8月2日 大行進神奈川が米陸軍相模総合補給廠抗議行動
8月5日 8・6前夜決起集会・デモ
8月6日 8・6戦争式典粉砕デモに500人、ヒロシマ大行動集会・デモに550人
8月7日 8・6ヒロシマ大行動がヒサヒトの原爆慰霊碑訪問弾劾行動
8月9日 8・9ナガサキ反戦反核行動実が戦争式典粉砕デモと反戦反核集会

会計報告（26年7月1日～31日）

●収入	199,850
ニュース代	108,050
銀行振込カンパ	20,000
725集会参加費他	71,800
●支出	198,736
闘争費	114,595
725集会関連	31,130
86闘争関連	59,465
815闘争関連	24,000
ニュース作成	68,000
事務局活動費	16,141
コピー用紙と封筒	5,410
ラミネートその他	10,731
●６月末繰越金	1,122,645
●残高	1,123,759

「改憲・戦争阻止！大行進」運動は、大規模な反戦デモをめざして全国で取り組んでいます。
各地にも「大行進」実行委員会がつくられています。
【呼びかけ】高山俊吉（弁護士）／森川文人（弁護士、憲法と人権の日弁連をめざす会）
野本三吉（ノンフィクション作家）／洞口朋子（杉並区議会議員）
国鉄千葉動力車労働組合
ブログ https://stop-kaiken.blog.jp/
ツイッター（X） https://x.com/grandmarch2020

ブログ　ツイッター

カンパのお願い

《振込先》
きらぼし銀行
東新宿支店（071）
普通 5009268
「弁護士 森川文人」